

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2014年(平成26年)7月 第500号

↑携帯電話からの
最新情報提供: 沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

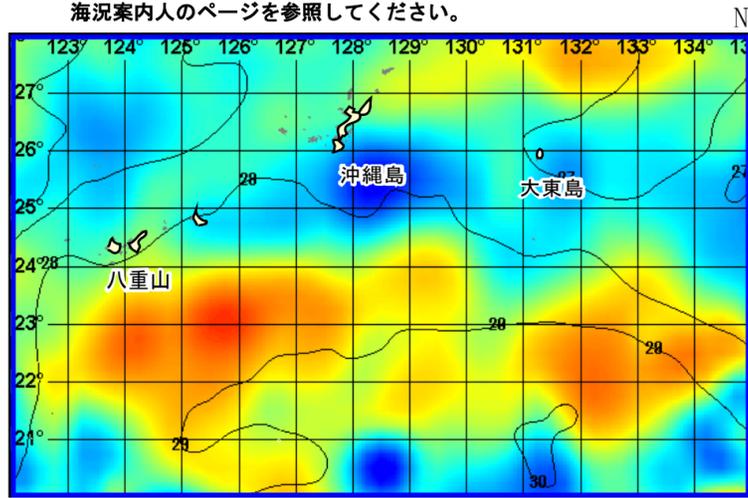


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2014年10月5日)

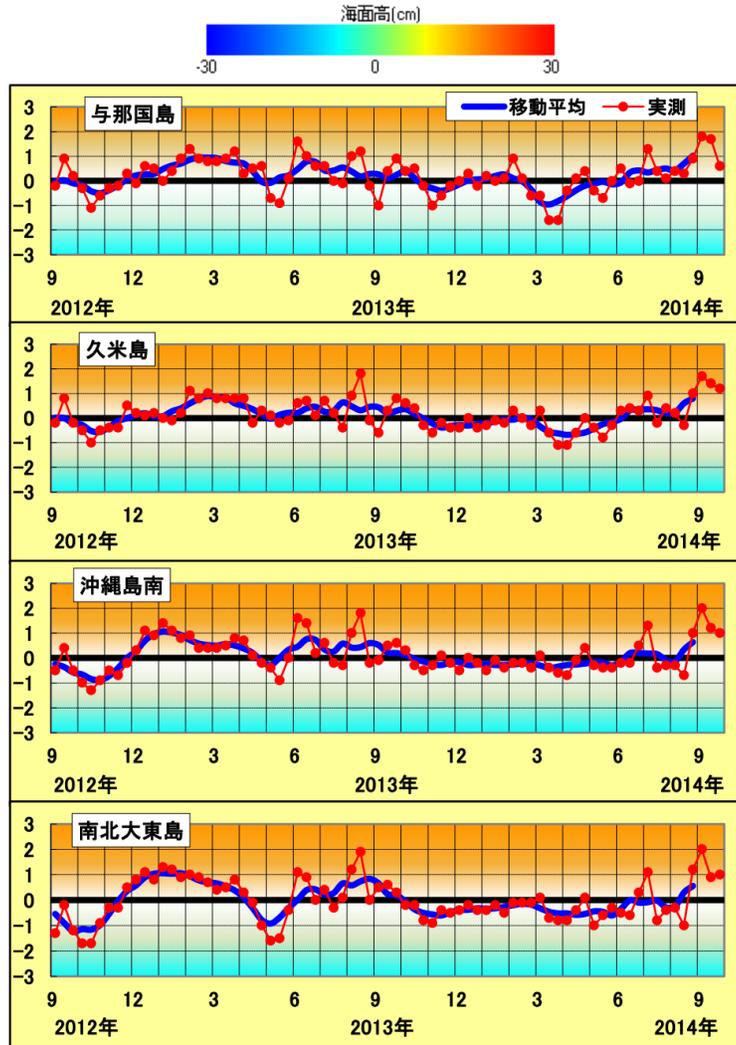


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料: 西日本海況情報(長崎海洋気象台; 2013年4月1日以降は沖縄気象台)

水温: 9月の海面水温は、好天が続き風も弱い天候が続いたため、前半、やや高め～かなり高め(+1.0～2.0°C程度)、後半、やや高め～高め(+1.0～1.5°C程度)で推移したが、10月に沖縄付近を2つの台風が通過した後は、急激に水温が下がった。

今後1ヶ月の表面水温は、大東島近海で前半、かなり低め(-1.5°C以下)、後半、低め(-1.5°C程度)となる他は、前半、低め(-1.5°C程度)、後半、やや低め(-1.0°C程度)で推移する見込み。

潮流: 先月から続く上述の2つの中規模渦の影響で北緯24°30'～23°00' 東経126°30'～128°00' 付近にはかなり強い南東向きの流れが発生しており、今後1ヶ月程度は南西方向に移動しながらこの流れは維持される見込み。

参考資料
・気象庁: 沖縄周辺の日別海水温・潮流
・気象庁: 海水温海流1ヶ月予報
・沖縄気象台: 沖縄県地方1か月予報
※10月5日以降、コロラド大学からの海面高度図が入手できない状況になります。

9月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	やや高め
久米島	高め
沖縄島南	やや高め
大東島	やや高め

漁況

パヤオ漁業: 沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではカツオ、シビ、キハダの水揚げが多かった。

表1 7月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.5
カサギ	0.5	0.3	0.2	0.0	1.0	0.0	1.6
沖サワラ	0.5	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3
カツオ	0.3	0.1	0.1	0.1	0.6	15.5	21.5
キハダ	18.2	2.2	1.5	0.3	22.2	9.0	43.0
シビ	2.3	2.0	1.2	2.8	8.3	13.5	24.6
メバチ	1.4	0.0	0.0	1.3	2.7	0.0	5.1
計	23.2	4.7	3.1	4.5	35.7	38.1	97.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	8.2	70.6
2014年	13.6	22.1	-	-	-	35.8

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	9.5	83.9
2014年	5.6	8.3	-	-	-	13.9

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	6.2	11.3
2014年	2.5	0.2	-	-	-	2.7



ナンヨウキンメ(アカフワー)

糸満ではキハダが18.2t漁獲された。港川ではキハダが2.2t、シビが2.0t漁獲された。知念ではキハダが1.5t、シビが1.2t漁獲された。沖縄市ではシビが2.8t、メバチが1.3t漁獲された。伊良部ではカツオが15.5t、シビが13.5t、キハダが9.0t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

7月のキハダの漁獲量は、22.1tで6月(13.6t)に比べて8.5t漁獲量が増加、昨年の7月(11.3t)と比較すると10.8t増加した(表2、図3)。シビの漁獲量は6月(5.6t)と比べて2.7t増加した(表3)。シイラの漁獲量は6月(2.5t)と比べて2.3t減少した(表4)。

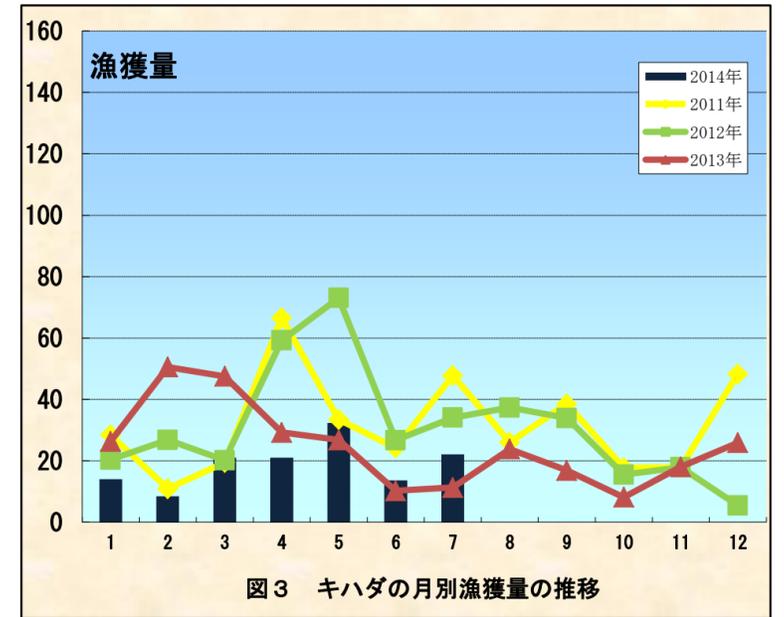


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 7月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	286.3	9.8	0.0	313.0	0.0	227.7	837.8	839.1
カマス	392.1	6.4	0.0	1.5	0.0	1.0	401.0	528.2
ヤマトカレイ	19.4	62.9	0.0	0.0	0.0	0.0	82.3	105.6
ムロアジ	70.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3	70.3
ガツン	9,878.9	43.7	0.0	10.4	0.0	20.9	9,953.9	10,000.9
ガーラ	2,203.0	317.7	0.0	15.1	22.5	148.3	2,711.5	3,447.6
グルクマ	2,925.7	70.8	0.0	91.5	2.2	0.0	3,090.2	3,575.4
カツオ類	2,081.5	65.9	0.0	0.0	0.0	3.3	2,150.7	2,541.8
タチウオ	71.5	39.1	0.0	0.0	0.0	0.0	110.6	113.5
アイゴ	98.4	0.3	0.0	8.7	0.0	1.0	108.4	151.4
合計	18,027.1	616.6	0.0	440.2	24.7	402.2	19,516.7	21,373.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

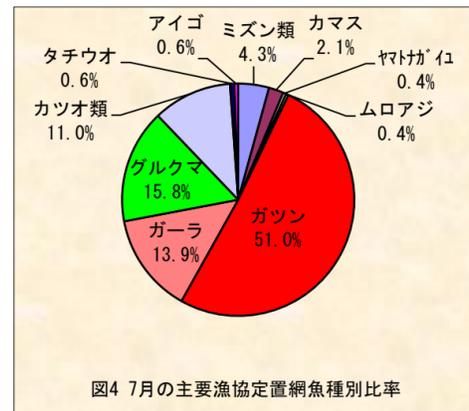


図4 7月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網: 7月の全体の漁獲状況は、21,373.8kgで先月(13,812.4kg)と比べて増加した。ガツンの漁獲が全体の51.0%、グルクマが15.8%、ガーラが13.9%を占めた(表5、図4)。